

血液・凝固系分野

潜在性 HTLV-1 感染関連疾患

1. 概要

ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型 (HTLV-1) は、成人 T 細胞白血病・リンパ腫 (ATL)、HTLV-1 関連脊髄症、HTLV-1 ぶどう膜炎の原因ウイルスである。前述の 3 疾患以外に、炎症性疾患や感染性合併症など、様々な疾患が HTLV-1 関連疾患ではないかと疑われているが、実態は明らかになっていない。

2. 疫学

全国の HTLV-1 キャリア数は約 108 万人と推定されている。HTLV-1 によって発症する疾患のうち ATL の発症数は、全国で 1 年間に 1,100 例余りとされている。HTLV-1 関連脊髄症については、およそ 3000 人の患者がいるものと推定されている。HTLV-1 ぶどう膜炎は、キャリアの約 0.1% に認めるといわれている。他に、炎症性疾患や感染性合併症などが HTLV-1 関連疾患と推定されているが、その詳細は不明である。

3. 原因

HTLV-1 感染によるウイルスと宿主の遺伝的および免疫学的要因間の複雑な相互作用に依存すると推定されるが、その詳細は不明である。

4. 症状

それぞれの疾患特異的な症状を呈するに加え、慢性炎症所見を示すことが推定されるが、実態は明らかになっていない。

HTLV-1 に感染している人 (キャリア) の大多数は、健常人と同様な日常生活を送ると考えられているが、ごく軽微な症状は見過ごされている可能性がある。

5. 合併症

疾患の実態が不明であり、合併症についての知見はない。

6. 治療法

疾患の実態が不明であり、特異的な治療法は確立していない。

7. 研究班

潜在性 HTLV-1 感染関連疾患の発見と実態調査研究班